

會見狀況九、如二

(會社側) 社長 鈴木惣兵衛 事務取締役 青木謙太郎

非常役員 藤岡 技師等五名

(職工側) 役員側代表者 森林 儀重外四名

職工側代表者 足田 楮彦外十四名

鈴木社長先づ「自分も在任中富事件で若起シタル遺憾ナリ、乍然  
誠意解決ニ努ムベシ」と述べ、職工代表者牧本三郎「要求書ヲ朗  
讀シ今大林山次ハ場中支配人ヲ職工代表ニ交セル由回答文ヲ朗讀  
シ、森ニ會見ヲ要スト」此語約三分

本部ニ引揚ケタル委員等、同定會書ヲ謄寫版ニ謄寫シ、七時半各  
支部ニ送達シ、ガ語ニ、同定會書ニ於テ各支部ハ協議ノ結果各代表  
者一名及旧役員(會社ニ在任中)但長ヲ指ス)五名ヲ選定、本部  
ニ於テ最高幹部上協議ニ所ナリ、容易ニ決セ、夜半ニ至リ會社代表

「同定會書ハ之ヲ返却シ更ニ要求条件ヲ提出スルニ決定、深更散會セリ  
斯クテ同定會書返却委員ハ佐藤長太外六名トシ要求条件ハ九日午前決定ニ  
トセリ

此日爭議團ニ関シ公安ヲ紊セル柴田富太郎外四名ハ藤東ヲ加ヘラレタリ

回 答 書

第一ニ就テハ未ダ其ノ時期ニアラズト認ム

第二ニ就テハ調査研究中ナルニヨリ留保

第三ニ就テハ從來會社側ニ於テ管理ニ來リタルモ此際會員全部ノ希望ナ  
ラハ事件解決後解散シ其基金ヲ各自ノ騰出高ニ比例シテ分配スルコト

異議ナシ

第四ニ就テハ積徳會基金中ヨリ工場法扶助規則ニヨリ支拂ヲ爲シタルコトナシ  
第五ニ就テハ申出ニ應ジ難シ但シ實收ニ於テ甚テ認ムルモ事件解決後調